

# 私達の長穂

## これから 長穂地区活性化

### アンケート調査配布される

長穂地区土地改良区

- ◎長穂のいまをみつめて。
- ◎長穂地区の一番良いイメージを。
- ◎長穂地区の「住みやすさ」についてお尋ねします。
- ◎将来の長穂を考えてどのような長穂になれば良いとお考えですか。
- ◎『自然豊かで人情味ある長穂』を創るためにお尋ねします。
- ◎お宅の経営耕地面積は。  
(水田、普通畑、樹園地の面積合計)
- ◎お宅では、今後どの程度の期間、農業が続けられるとお考えですか。
- ◎農業を中心とした「むら」づくりは、どのようにすれば良いと考えますか。
- ◎ほ場の整備に要する経費には、多くの税金が投入され、受益者の負担は、10%以下程度と聞いていますが、ほ場整備についてのお考えは。

長穂土地改良区は、このアンケートを参考に、長穂地区活性化(基盤整備や整備後の営農の仕組みなど)の勉強会を続けていきます。

## ☆がんばりました☆

### ◎周北武道大会

個人(3、4年の部) 3位 魚谷 あかね さん  
 団体(低学年女子) 2位  
 団体(中学年女子) 3位

### ◎中村少年少女剣友会30周年記念大会

団体(低学年混合) 3位



「私達の長穂」が変わりました。  
「ご意見、お気付きを  
お聞かせください。」

長穂公民館 八八〇四〇一まで

## 頑張ったよ!

### 長穂武道少年団



柔道と剣道を合わせ、小学校から一般の計32チームが集結した第34回周北武道大会が2月11日(祝)、徳山北高校体育館で開催されました。長穂武道少年団の小学生、中学生は、寒さを吹き飛ばす熱戦を繰り広げました。



は、保護者や長寿会、地域の方々ともちつき、もちこねをして、できたてのおもちを参加者と一緒に食べました。

ヨイショヨイショ!

全校児童で育てたもち米を使ったもちつき集会が2月3日(金)、長穂小学校で開催されました。児童のみなさん

# 卒業に向けて

六年 国兼 尚史

ぼくの六年間が一番の思い出は、長穂散歩です。長穂散歩とは、二学期に六年生が龍文寺や炭倉山に、写真をとりに行った時のことです。

なぜ一番印象に残ったかというと、みんなですごく楽しく話しながら歩いたり、みんなで弁当を持って行って炭倉山の頂上で食べたり、そして何よりも帰る前に、河内神社で「けっこん」(かくれんぼみたいなもの)をしたからです。すごくつかれました。だけどまた行きたいなと思いました。

ちなみにとった写真は、ポスターにして産業文化祭に展示しました。この自然がいつまでも残ればいいなと思いました。この思い出を胸に、三月十七日に卒業します。



## 中学生になっても

六年 亀石 藍

私は、中学生になっても、部活や社会体育で卓球をがんばりたいです。運動だけでなく、勉強もがんばりたいと思います。私が、卓球に出会ったのは、小学一年のころです。いろんな事で、泣いたり、笑ったりしていました。今では、こういうことが、とても良い思い出になっています。卓球のかんとくの方々に感謝をして、また、新しい中学生生活をがんばりたいと思います。

中学生になるのは、いろんな面で不安です。でも、いろんな人に教えられた事を生かしていきたいと思います。そして、また、いろんな良い思い出を作りたいと思います。

## 3月行事予定

- 2日(木) (小学校) 長寿会との交流 3、4、6年
- 7日(火) (公民館) 健康相談 13時30分～
- 8日(水) (小学校) ベルマーク回収
- 9日(木) (公民館) ふれあい昼食会 11時～
- 10日(金) (中学校) 卒業証書授与式
- 12日(日) (公民館) 長穂地区土地改良総会
- 14日(火) (小学校) 6年生を送る会
- 16日(木) (児童園) 卒園式
- 17日(金) (小学校) 卒業証書授与式
- 20日(月) (中学校) 翔北地区校外補導連絡協議会
- 22日(水) (小学校) 登校指導、給食終了
- " (中学校) 翔北中仮入学
- 23日(木) (中学校) 保護者会
- 24日(金) (小学校) 修了式
- " (中学校) 修了式
- " (児童園) 保育納め



★「私達の長穂」4月号は4月15日発行予定です★

## ◆ 慶弔近報 ◆

(敬称略)

深町 栄 (勤地下) 18年2月13日  
栗栖 小毛ヨ (宮の原) 18年2月16日  
死亡 (心からお悔やみ申し上げます。)

## ◆ 編集後記 ◆

若連 中(7) つづき

若連中、記事の最初にこの言葉が言われなく、又聞かれなくなったのは、いつ頃だろうか…。と昔は地区内の行事、特に祭り事等に、のぼりや提灯などに誇示してその集落を表したようですが、夏祭りなどに出演する踊りなどは若い男女が参加、このお世話はその集落の老若男女、全員で盛り上げられていた。

終戦後一段と盛んになった頃が有ったが、地区内の祭り事が少なくなり、時代とともに、上、中、下組、勤地と集落単位から組単位になり、若連中が言われなくなつたのは、昭和三十年頃でしょうか？すでに地区では青年団活動が動いていた。

編集子 藤本